

令和2年度（2020年度）  
金沢大学大学院法務研究科  
入学試験問題  
刑 法

D日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和2年度（2020年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（5点×2）

以下の語句あるいは概念を説明しなさい。解答の際は、定義だけを記述するのではなく、学説の議論状況や判例の状況など解答すべき内容を問題に応じて自ら選択し、具体的な事例を自ら設定したうえでそれぞれ解答用紙5行程度で解答すること。

- (1) 原因において自由な行為
- (2) 科刑上一罪

### 問題2（15点）

次の事例におけるXおよびYの罪責を論じなさい。ただし、監禁罪および特別法違反の点は論じる必要はない。なお、XとYは無関係の人間である。

Xは、深夜K市内の繁華街を歩いていたところ、A女（17歳）が路上に座り込んでいるのを見つけ、女子高生と話をするのも面白そうだと思い、Aに対し「行くところないならうちに来る？ おいしいご飯くらい出してあげるよ」と声を掛けた。最初不審に思ったものの、Aはいわゆる「神待ち」（注）をしていたため、泊めてくれる人が出たのはラッキーだと思ってXについて行った。

Yは、女子高生との同居生活をしてみたいと考え、同じくK市内の路上でB女（17歳）に、真実は自らの家にしばらく住まわせる意図であるもののそれを秘し、「3時間ほどの実験に付き合ってくれば5万円あげる」と声を掛け、割のいいアルバイトだと思ったBは承諾し、YはBを自らの家に連れていった。その後、Bの父親CがBに電話を掛けたところYが出たため、CはBが誘拐されたことを察知したが、Cは出来が悪く我がままばかり言うBを持って余していたため、Yに対し「こんなバカ娘はもういないからいつまでも連れまわしてくれてかまわない」と言って電話を切った。なお、Bの母親はすでに死去しており、Bはその日のうちに帰してもらえないということを知っていたならばYについていくつもりはなかった。なお、AもBも当時は通学する高校の制服姿であった。また、XやYに刑法225条所定の目的はないものとする。

（注）神待ち…家出をしている少女がSNSや深夜の繁華街等で宿泊場所を提供してくれる人を探し求めること。